



2022年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社大戸屋ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 蔵 人 賢 樹
(コード番号 2705 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 羽 田 正 貴
(TEL 045-577-0357)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月11日に公表致しました「2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）」を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,163	1,405	1,379	953	117.20
今回修正予想 (B)	24,102	974	1,057	891	108.71
増減額 (B-A)	△1,061	△430	△321	△61	△8.49
増減率 (%)	△4.2%	△30.6%	△23.3%	△6.4%	△7.2%
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	18,834	△594	△532	1,910	249.49

2. 通期連結業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少傾向にあったものの、7月以降に急増したこと、人手不足により店舗運営が圧迫されたこと、および物価上昇に伴い消費マインドが停滞したことにより、売上高は当初の予想を下回る結果となりました。

また原油・原材料価格の高騰に伴い仕入れ価格および光熱費が上昇したこと等により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が何れも当初の予想を下回る結果となりました。

他方、人手不足によるオペレーションの課題や投資コストの削減に対応するべく、ショッピングモール内のフードコートモデルを確立したほか、店舗労働時間の管理徹底による労務費の適正化等、事業環境の変化に順応した取り組みを強化し、収益性の向上に努めることで、業績の回復を見込んでいるものの、通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の状況を踏まえ見直しを行った結果、通期業績連結予想を修正いたしました。

(注) 上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上